

演 講 記 念

記 念 講 演

◇ 演 題 「生徒の『主体的・対話的で深い学び』を実現する
理科の授業づくりを考える」

◇ 講 師 文部科学省 初等中等教育局
視学官 藤 枝 秀 樹 先生

(併任 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官)
(併任 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部
教育課程調査官・学力調査官)

【経 歴】

平成2年3月 筑波大学大学院 理学修士 取得
平成2年4月 香川県立高等学校に理科教諭（生物担当）
平成14年4月 香川県教育センター主任研究員
平成17年4月 香川県教育センター指導主事
平成26年4月 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官
兼 学力調査官
(兼 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官)
平成31年4月 現職

【その他】

平成21年告示の「高等学校学習指導要領解説理科編」の作成協力者として、また、平成29年改訂の現行学習指導要領については、「中学校理科」及び、「高等学校理科」と、高等学校の新教科「理数」の編集に携わる。

「生徒の科学する心に火をつける」をモットーとし、理科の授業づくりについて多くの先生方とともに一緒に考えていきたいと考えている。